5/25(火)「名前のことだま×ソングレターライブ」開催!!

親からの一番の贈り物、それは「名前」

5月といえば、思い出すのは、「母の日」。そんなタイミングもあってか、最近【親が死ぬまでにしたい55のこと】という本が話題を呼んでいます。

帯の文句を読むと、「仮に親が現在60歳とすると・・・20年（親の残された寿命）×6日間（1年間に会う日数）×11時間（1日で一緒にいる時間）＝1320時間。つまり、あなたが親と一緒に過ごせる日数はあと55日間しかないのです」とドキッとさせられるコピーが目にとまります。

この本では、「残された時間を後悔しないために」ということで、「親の肩をもんであげる」「母子手帳を見せてもらう」「父とキャッチボールをする」など、具体的な親孝行の形が55通り紹介されています。

名前の由来を聞く

その中でも、特に興味深かったのが、48番目に挙げられている「自分の名前の由来を聞く」という項目でした。

この本では、「健一」という名前の男性が、20歳を過ぎてからはじめてその由来を母親に尋ねるエピソードが紹介されています。

「聞いてみなくては分からなかった、両親の僕に対する思い。平凡だと感じていた名前にも、深い愛情と祈りが込められていることを知り、誇りに思えるようになった」とその方は結んでいますが、人生で両親から最初に受け取るプレゼント「名前」と向き合うことは「両親（の想い）」と向き合うことと同意なのではないでしょうか。

ところが中には「私の名前は画数でつけられたので、特に意味はないです」「由来はすでに知っているので、今さら興味ないし…」という方もいらっしゃるかもしれません。

ただもしそこに「名づけた親すらも気づいてない【名前そのもの】に隠れた意味」があるとしたら、どうでしょうか？

氏名＝使命

それを、日本語が持つ「音の働き」から解明するという活動を十年以上されているのが、ことだま教師の山下弘司先生です。

たとえば、安達充の場合、「み」「つ」「る」という3つのことだまをもっています。

「み」は「水」を表すことだまで、古代の日本人が「水」を身を清める「禊（みそぎ）」に活用していたことから、体だけでなく心も洗い流して清める働きがあるそうです。

そして、そこから【原石を磨いて宝石の輝きを与える「み」の働きから、「人を輝かせる」使命を持った人】と紐解いていただき、『まさに、音楽を使って人を輝かせるのが、自分の仕事だ！』と深い感動を覚えました。

「自分の氏名の中に、自分の使命が隠されている」それに気付くと、自分の名前が前よりも好きになります。自分の名前を好きになると、自分のことも好きになり、より自信をもって生きられるようになるのです。

名前の影響力

このことを、少し補足しましょう。あなたが、一生のうちに、最も多く口にし、最も多く耳にする言葉は何でしょうか？

いうまでもなく、その答えは、「名前」です。つまり、人は自分の名前を言い、呼ばれるたびにそのイメージが何度も何度も深く刻まれ、人生の方向を大きく左右しているということです。

自分の名前が嫌いであれば、その名前を聞くたびに、力が出なくなっていきます。逆に、自分の名前が好きであれば、それを聞くたびにどんどん力がわいてきて、人生が開けて行きます。それくらい、「名前が持つ影響力」は計り知れないものがあるのです。

ですから重要なのは、【自分がどんな名前か】ということより、【自分の名前が好きかどうか】です。

そしてさらに重要なことは、【自分の名前を好きになると、必ず親に感謝する気持ちが自然と生まれてくる】ということです。

宝＝他から

大切なものを「宝」＝「他から（たから）」と言います。一生ものの持ち物でありながら、絶対に自分で決めてないのが名前です。

親からもらった最高の宝物である「名前」の素晴らしさに気づけば、その名前をくれた親に感謝したくなるのも当然です。

だから、まずは「自分の名前を好きになる」ということ自体が、大切な親孝行なのではないでしょうか。

名前の影響力

今回の「名前のことだま×ソングレターライブ」では、山下先生による「ことだま解説」を元として、そこに即興作曲を得意とする安達充の『音楽』の力をプラスすることで、【参加型・体感型】で腑に落としていただく場を創ります。

自分の名前を紐解いてほしい方のための〈診断＋作曲付き〉のコースもあります。

「名前のことだま×ソングレターライブ」第2回は5月25日に行われます。あなたの人生を変え、親孝行につながる一日になることを願っています。

ことだま教師 山下弘司

ことだま教師＆命名言霊学協会代表。

日本の叡智「言霊」を基本として人が幸せになる「名前のことだま（命名言霊学）」を2001年に独自に開発。現在、全国に講座などを通して普及展開中。「氏名は使命」「改名から解明へ」「転職から天職へ」が「名前のことだま」で伝えたいこと。

著書に『名言セラピー』でおなじみのひすいこたろう氏とタッグを組んだ『人生が100倍楽しくなる名前セラピー』（毎日コミュニケーション）がある。名前のひとつひとつの音の意味をひも解くことによって、その人の使命や生まれてきた理由を伝えている。

http://www.kototama-himehiko.com/

ソングレターアーティスト 安達充

1979/3/15 生まれ　特技：即興で作曲

2004年1月から活動開始。その中で、誰かの想いを歌にして贈る「ソングレター」を独自の作曲スタイルとして確立。3年間の活動を経て、2007年から商標も取得し「ソングレターアーティスト」を名乗る。

誰かの想いを込めた手紙が即興で歌になり、言葉だけでは伝わらない想いが感動的に伝わる体験をした人達から、様々な形で作曲依頼を受けている。

最近では、常盤貴子主演映画「引き出しの中のラブレター」DVDキャンペーンの作曲も手がける。

http://www.song-letter.jp/

当日の内容について

1, 山下弘司先生による
「ことだま解説（“母”について）」
2, 安達充による
「ソングレター」弾き語り
3, 山下弘司先生による
「名前のことだま診断」
＆安達充による
「即興ソングレター」作曲
※時間の関係で最大【2名】となります。
4, 安達充の即興演奏つきの
「ワーク＆シェアタイム」
※安達充が、あなたの話に合わせて即興でピアノBGMを奏でます。

★HPもご覧下さい ⇒ http://bit.ly/aG8ilk

【日程】2010年5月25日（火）
【時間】19:00〜21:00（18:45開場）
※終了後に懇親会も予定しています。
【場所】六本木シンフォニーサロン
※東京都港区六本木7-18-12 ｼｰﾎﾞﾝﾋﾞｭｰﾋﾞﾙ8階
（日比谷線六本木駅2番出口より徒歩1分）
【講師】山下弘司、安達充

【参加費】※当日、受付にてお支払い下さい。
10,000円（プレミア席）3,000円（一般席）
※プレミア席⇒ことだま診断＋即興ソングレター付き
【申込方法】件名を「5月25日参加希望」として以下をメールでお送り下さい。⇒ ma@song-letter.jp
1. お名前（※フリガナ必須）　2. メールアドレス
3. チケット枚数　4. チケット種別（プレミア、一般）

★携帯サイトからもお申込みが可能です。

★次回は6月11日（金）に「父の日」をテーマとしたライブを予定しています。是非連続でご参加下さい。